

右ノ如ク從來ハ晒麻布ノミ用ヒシガ、江戸ニテハ、天保以來、生太布ヲ長一尺餘ニ裁テ、一隅ニ藍絞リヲ染テ用之、京坂モ弘化末ヨリ專ラ用フ、蓋三都トモニ晒布全ク廢セズ、今モ稀ニハ用之、晒布ハ全白ニテ絞リ染無之也、

〔山槐記〕治承四年二月十五日丁酉、藏人頭左中弁經房朝臣送書云、去十三日書、今日到來、

來四月可有御即位事、任治曆例於太政官廳、可被行其議歟、略中

四月三日乙酉、略中次攝政被參神祇官於郁芳門外下車、被參正廳仗座、裝束儀、略中主水司供御手

水、行事官掌相副之、無打敷、陪膳藏人頭重衡朝臣持參手洗、光長家俊各持參椽、盛定持參御手巾、白、木、插、

〔後水尾院當時年中行事正上月〕朔日、四方拜とらの一刻なれば、とうより御ひるなる、常にならします方にて先御手水まゐる、略中是より先にはいせんの人、椽を御手洗の中よりとり出し、うちかへしたるふたを玄あらためて、御手水をかけ參らす、御手拭には、大たかだんしを用ふ、件の次第、御清水、度の時毎、如此、

〔後水尾院當時年中行事下〕毎日の次第は、早旦御ひるなり、略中はいせんの人、例のひとへぎぬをいできて、御前にすゝみ、かけ帯ばかりをおく、内侍ひとへぎぬきて、御手水をもてまゐる、略中大たかだんし、紙の角に水を付けて、西の御座にて、御座の紙の角に水をつれに付おく、にて、御手水のごはれて御拜になる、

手拭寸法

〔延喜式四十〕供御年料、中宮、尺各九、

御手巾紵、四條、尺各九、

〔延喜式四十〕年料、主膳、尺各九、

御手巾紵、四條、別長九尺、略中、

右坊依主膳監解申官請受、餘監署所請物准此、